データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日:令和6年03月28日

愛知紙商健康保険組合

STEP1-1 基本情報

組合コード	57379
組合名称	愛知紙商健康保険組合
形態	総合
業種	紙製品製造業

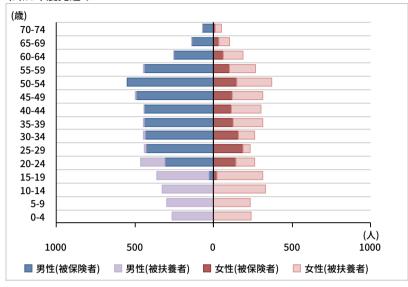
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	5,200名 男性76.9% (平均年齢43.20歳) * 女性23.1% (平均年齢40.19歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳)* 女性-% (平均年齢-歳)*	-名 男性-% (平均年齢-歳)* 女性-% (平均年齢-歳)*
特例退職被保険 者数	0名	-名	-名
加入者数	9,035名	-名	-名
適用事業所数	99ヵ所	-ヵ所	-ヵ所
対象となる拠点 数	99ヵ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	100‰	-%	-%0

		健康保険組	建康保険組合と事業主側の医療専門職											
		令和6年度!	見込み	令和7年度	見込み	令和8年度見込み								
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)							
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-							
连体祖口	保健師等	0	0	-	-	-	-							
事業主	産業医	0	0	-	-	-	-							
尹未土	保健師等	0	0	-	-	-	-							

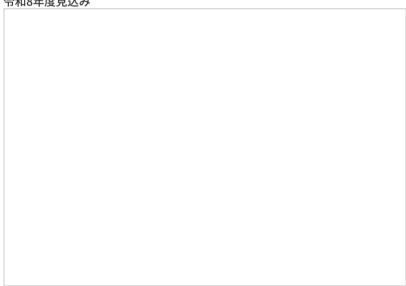
		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率	全体		3,051 / 3,765 = 81.0 %
(特定健康診査実施者数÷	被保険者		2,652 / 2,812 = 94.3 %
特定健康診査対象者数)	被扶養者		399 / 953 = 41.9 %
特定保健指導実施率	全体		165 / 586 = 28.2 %
(特定保健指導実施者数÷	被保険者		161 / 563 = 28.6 %
特定保健指導対象者数)	被扶養者		4 / 23 = 17.4 %

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
			被保険者一人 当たり金額(円)		被保険者一人 当たり金額(円)		被保険者一人 当たり金額(円)
	特定健康診査事業費	1,940	373	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	4,146	797	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	4,197	807	-	-	-	-
	疾病予防費	100,650	19,356	-	-	-	-
保健事業費	体育奨励費	600	115	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	1,201	231	-	-	-	-
	小計 ···a	112,734	21,680	0	-	0	-
	経常支出合計 ···b	2,906,522	558,947	-	-	-	-
	a/b×100 (%)	3.88		-		-	

令和6年度見込み



令和8年度見込み





男性(被保険者)

令和6年	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年	度見込み		
0~4	0人	5~9	0人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	0人	15~19	30人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	309人	25~29	429人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	437人	35~39	440人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	438人	45~49	489人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	551人	55~59	440人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	254人	65~69	135人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	69人			70~74	-人			70~74	-人		

女性 (被保険者)

令和6年	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年度見込み			
0~4	0人	5~9	0人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	0人	15~19	22人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	141人	25~29	191人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	158人	35~39	124人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	116人	45~49	121人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	149人	55~59	101人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	62人	65~69	37人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	14人			70~74	-人			70~74	-人		

男性(被扶養者)

令和6年	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年	度見込み		
0~4	263人	5~9	296人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	326人	15~19	329人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	157人	25~29	12人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	10人	35~39	4人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	1人	45~49	3人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	0人	55~59	3人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	1人	65~69	2人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	2人			70~74	-人			70~74	-人		

女性 (被扶養者)

令和6年月	度見込み			令和7年	度見込み			令和8年	度見込み		
0~4	239人	5~9	237人	0~4	-人	5~9	-人	0~4	-人	5~9	-人
10~14	329人 1	L5~19	292人	10~14	-人	15~19	-人	10~14	-人	15~19	-人
20~24	118人 2	25~29	44人	20~24	-人	25~29	-人	20~24	-人	25~29	-人
30~34	102人 3	35~39	188人	30~34	-人	35~39	-人	30~34	-人	35~39	-人
40~44	187人 4	15~49	197人	40~44	-人	45~49	-人	40~44	-人	45~49	-人
50~54	220人 5	55~59	166人	50~54	-人	55~59	-人	50~54	-人	55~59	-人
60~64	125人	65 ~ 69	69人	60~64	-人	65~69	-人	60~64	-人	65~69	-人
70~74	41人			70~74	-人			70~74	-人		

基本情報から見える特徴

- ・加入者情報グラフ:令和6年1月末時点にて作成。
- ・40歳代に加入者構成が偏っている。
- ・事業主の拠点が全国にあり、加入者も点在している。
- ・加入事業所が多いため、各事業所との関係が単一型と比較すると薄くなる傾向にあり、事業主と協働(コラボヘルス)しづらいことがあげられる。

STEP1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- ・生活習慣病のリスク保有者への対策は、特定保健指導が中心である。
- ・機関誌を自宅へ持ち帰らない被保険者が多い。
- ・簡易人間ドックは受診者が固定化されている。
- ・野球大会、ウォーキング事業の参加者が固定化されており、新規の参加者が増えない。

事業の一覧

課題報序の整備 (報告等音伝) 健康管理委員会 (報告等音伝) 健康宣言支護事業 (加入者へのまさげ) (保計等音伝) 機関試発行 (保計等音伝) 機関試発行 (保計等音伝) ホームージ問證 (即)の主 特定健康診事業 免診案内 特定健康診事業 免を契約による特定健診 特定健康等事業 物を実験情報 (保計等音伝) 医療動物 (保計等音伝) 医療動物 (保計等音伝) の 医皮膚が高 (原子的) 原人間トック (原子的) 原人間トック (原子的) 原人間トック (原子的) が、大胆が人秘診 (原子的) 次原子的 次原子の 大胆が人秘診 (原子的) 水田のは砂・全国巡回健診 (原子的) 水田のはどから、大胆が人秘診 (原子的) 水田のはどから、大胆が人秘診 (原子的) 水田のはどから、大胆が人秘診 (原子的) 水田のはどから、大胆が人秘診 (原子的) 水田のはどから、大胆が人秘診 (原子的) 水田のはどから、大胆のは、大胆のは、大胆のは、大胆のは、大胆のは、大胆のは、大胆のは、大胆のは	ず木ツ 見	
保管計算宣伝 機関政発行 機関政発行 機関政発行 保証	職場環境の整備	
機関語音伝 機関語符 機関語符 機関語符 機関語符 機関語符 機関語	保健指導宣伝	健康管理委員会
保健指導宣伝 機関誌発行 保健指導宣伝 ホーベーン開設 図700-15年 特定健康診査事業 受診案内 特定健康診査事業 特定保健指導 保健指導事業 特定保健指導 保健指導直伝 医療過知 保健指導宣伝 ジェネリック医薬品促進通知 保健指導宣伝 ジェネリック医薬品促進通知 保健指導宣伝 ジェネリック医薬品促進通知 保健指導宣伝 のよい子キャンペーン 疾病予防 思元刑ドック 疾病予防 医局入間ドック 疾病予防 定開健診 疾病予防 定開健診 疾病予防 定開健診 疾病予防 定開健診 疾病予防 素局形の 之間巡回健診 疾病予防 数レレディース健診 疾病予防 数レディース健診 疾病予防 数のレディース健診 疾病予防 数のレディース健診 疾病予防 数の大利健診 疾病予防 数の大利の対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対域を対	保健指導宣伝	健康宣言支援事業
保健指導宣伝 ホームページ開設 (保健指導宣伝 ホームページ開設 (保健指導宣伝 ホームページ開設)	加入者への意識づけ	
(保健指導宣伝 ホームページ開設 地別の事業 を診案内	保健指導宣伝	機関誌発行
研究健康含音	保健指導宣伝	冊子配付
特定健康診査事業	保健指導宣伝	ホームページ開設
特定健康診査事業	個別の事業	
特定保健指導	特定健康診査事業	受診案内
保健指導宣伝 医療費通知 保健指導宣伝 ジェネリック医薬品促進通知 保健指導宣伝 つよい子キャンペーン 疾病予防 簡易人間トック 疾病予防 生活習慣病健診 疾病予防 定期健診 疾病予防 共同巡回健診・全国巡回健診 疾病予防 太國口レディース健診 疾病予防 大腸がん検診 疾病予防 女の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	特定健康診査事業	集合契約による特定健診
保健指導宣伝 ジェネリック医薬品促進通知 保健指導宣伝 つよい子キャンペーン 疾病予防 簡易人間ドック 疾病予防 生活習慣病健診 疾病予防 定期健診 疾病予防 共同巡回健診・全国巡回健診 疾病予防 巡回レディース健診 疾病予防 大腸がん検診 疾病予防 重症化予防 疾病予防 本ピエジェクト 体育奨励 野球大会 体育奨励 ウォーキング事業	特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝 つよい子キャンペーン 疾病予防 簡易人間ドック 疾病予防 生活習慣病健診 疾病予防 婦人科健診 疾病予防 共同巡回健診・全国巡回健診 疾病予防 巡回レディース健診 疾病予防 大腸がん検診 疾病予防 重症化予防 疾病予防 本受プロジェクト 体育奨励 野球大会 体育奨励 ウォーキング事業	保健指導宣伝	医療費通知
疾病予防簡易人間ドック疾病予防婦人科健診疾病予防定期健診疾病予防大同巡回健診・全国巡回健診疾病予防巡回レディース健診疾病予防重症化予防疾病予防重症化予防疾病予防女ンタルヘルスカウンセリング疾病予防卒煙プロジェクト体育奨励野球大会体育奨励ウォーキング事業	保健指導宣伝	ジェネリック医薬品促進通知
疾病予防 生活習慣病健診 疾病予防 定期健診 疾病予防 共同巡回健診・全国巡回健診 疾病予防 巡回レディース健診 疾病予防 大腸がん検診 疾病予防 メンタルへルスカウンセリング 疾病予防 卒煙プロジェクト 体育奨励 野球大会 体育奨励 ウォーキング事業	保健指導宣伝	つよい子キャンペーン
疾病予防婦人科健診疾病予防定期健診・全国巡回健診・疾病予防巡回レディース健診疾病予防大腸がん検診疾病予防重症化予防疾病予防メンタルヘルスカウンセリング疾病予防卒煙プロジェクト体育奨励野球大会体育奨励ウォーキング事業	疾病予防	簡易人間ドック
疾病予防定期健診疾病予防共同巡回健診・全国巡回健診疾病予防巡回レディース健診疾病予防重症化予防疾病予防重症化予防疾病予防メンタルヘルスカウンセリング疾病予防卒煙プロジェクト体育奨励野球大会体育奨励ウォーキング事業	疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防共同巡回健診・全国巡回健診疾病予防巡回レディース健診疾病予防大腸がん検診疾病予防重症化予防疾病予防メンタルヘルスカウンセリング疾病予防卒煙プロジェクト体育奨励野球大会体育奨励ウォーキング事業	疾病予防	婦人科健診
疾病予防巡回レディース健診疾病予防大腸がん検診疾病予防重症化予防疾病予防メンタルヘルスカウンセリング疾病予防卒煙プロジェクト体育奨励野球大会体育奨励ウォーキング事業	疾病予防	定期健診
疾病予防大腸がん検診疾病予防重症化予防疾病予防メンタルヘルスカウンセリング疾病予防卒煙プロジェクト体育奨励野球大会体育奨励ウォーキング事業	疾病予防	共同巡回健診・全国巡回健診
疾病予防重症化予防疾病予防メンタルヘルスカウンセリング疾病予防卒煙プロジェクト体育奨励野球大会体育奨励ウォーキング事業	疾病予防	巡回レディース健診
疾病予防メンタルヘルスカウンセリング疾病予防卒煙プロジェクト体育奨励野球大会体育奨励ウォーキング事業	疾病予防	大腸がん検診
疾病予防卒煙プロジェクト体育奨励野球大会体育奨励ウォーキング事業	疾病予防	重症化予防
体育奨励 野球大会 体育奨励 ウォーキング事業	疾病予防	メンタルヘルスカウンセリング
体育奨励 ウォーキング事業	疾病予防	卒煙プロジェクト
	体育奨励	野球大会
事業主の取組	体育奨励	ウォーキング事業
	事業主の取組	

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予	注1)				対象	者				振り返り		
	事業分類	事業名	事業目標	対象 事業所	性別	年齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	注2) 評価
	環境の)整備										
保健指導宣伝	1	健康管理委員会	・事業所の健康課題の理解度100%	全て	男女	18 ~ 74	被保険者	262	【令和4年度・実績】 6月 11名 11月 10名	・保健事業の運営について、事業所代 表者と直接協議ができる	・年2回のみの開催のため、すべての保健事業について把握してもらうのは難 しい	3
IA	1	健康宣言支援 事業	健康宣言提出事業所の増加	全て	男女	18 ~ 74	加入者全員	309	【令和4年度・実績】 健康宣言書提出 11事業所 (うち優良法人認定 6事業所)	・事業所へ健康経営に関するリーフレットの送付	・小規模事業所は健康経営まで手が回 らない現状がある	2
加入	者への	意識づけ										
保健指導宣伝	5	機関誌発行	・事業所経由での配付 ・全被保険者に配付(対象者の100%)	全て	男女	18 ~ 74	被保険者	2,001	【令和4年度・実績】 発行部数 4月 5,180部 発行部数 10月 5,200部 全被保険者に事業所経由の配布		・読ませる工夫不足 ・自宅へ持ち帰らない被保険者(被扶養 者との共有・無)が多い	5
	5	冊子配付	・新規加入者に配付(対象者の100%)	全て	男女	18 ~ 74	被保険者	264	【令和4年度・実績】 該当者 730名	・年間の得喪が多いため、新規加入者 向けに事業案内を広報	・自発的閲覧意識の低さ	5
	5	ホームページ 開設	・保健事業等の周知のため、ホームページを更新:年12回	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	18	・ホームページ ・法改正や事業案内に都度対応	・web化によるタイムリーな周知	・web化の周知不足 ・未読者への対応	4
個別	の事業	ŧ										
特定健康診査事業	3,4	受診案内	・全対象者に送付(対象者の100%)	全て	男女	~	被保険 者,被扶 養者	161	【令和4年度・実績】 対象者 719名	・被扶養者、任意被保険者は健診受診 のきっかけが少ない為、毎年、同時期 に案内を行うことは健保組合の使命の1 つである		5
	3,4	集合契約によ る特定健診	・健診案内通知送付率: 100%・受診者数: 94人→300人	全て	男女	~	被保険 者,被扶 養者	788	【令和4年度・実績】 受診者 36名	・受診可能な医療機関が多く、利用者 の利便性向上	・受診率が低い	1
特定保健指導事業	4	特定保健指導	・特定保健指導実施率:30%以上 ・特定保健指導該当者割合:20%以下	全て	男女	30 ~ 74	基準該当者	4,412	【令和4年度·実績】 動機付け支援 69名 積極的支援 114名	・対象者名簿を事業所に渡して、実施 までの運用を事業所主体で行う ・対象者へ直接周知	・対象者の保健指導に対する理解不足(理解させる工夫不足) ・保健指導への参加機会の不足	4
保健指導宣伝	5	医療費通知	・全対象者に送付 (対象者の100%)	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	439	【令和4年度・実績】 通知件数 2月 4,616件 被保険者に事業所経由の配布	・事業所経由の配布による閲覧のしや すさ	・自発的閲覧意識の低さ	5
	7	ジェネリック 医薬品促進通 知	・対象者に事業所経由で送付(被扶養者を含む)【年3回】: 100% ・対象者:1,000円以上(4ヵ月合計)自己負担が下がる20~74歳の被保 険者および被扶養者 ・ジェネリック医薬品使用割合:70%以上	全て	男女	~	被保険 者,被扶 養者	13	[令和4年度・実績] 通知件数 7月 216件 通知件数 11月 153件 通知件数 2月 158件 被保険者に事業所経由の配布	・事業所経由の配布による閲覧のしやすさ	・ジェネリック医薬品に対する理解不足 ・自宅へ持ち帰らない被保険者(被扶養者への通知・無)が多い	5

予	注1)				対象	者				振り返り		
算 科 目	事業分類	事業名	事業目標	対象 事業所	性別	年齢	対象者	事業費 (千円)	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	注2) 評価
	2,5	つよい子キャ ンペーン	・つよい子キャンペーンの参加案内を対象者宛て送付 : 100%	全て	男女	3 ~ 5	被扶養者	217	【令和4年度・実績】 送付対象者 310名 参加者 25名	・キャンペーンセットを自宅へ送付・カレンダーとシールを用いて楽しく実施できる・アンケートにより参加者から意見収集ができる	・キャンペーンの実施期間が長い ・対象年齢外の子供がいる場合に不公 平感がある	1
疾病予防	3,4		・簡易人間ドックの案内文書を事業所経由で配付(被扶養者を含む) 【 年2回】: 100% ・受診者数: 801人→1,000人	全て	男女	~	被保険 者,被扶 養者	31,800	[令和4年度・実績] 受診者 970名	・契約健診機関の拡充	・リピーターが多く、新規受診者が少ない ・自己負担額が高い	4
	3,4	生活習慣病健 診	・生活習慣病健診の案内文書を事業所経由で配付(被扶養者を含む) 【 年2回】: 100% ・受診者数: 950人→1,200人	全て	男女	~	被保険 者,被扶 養者	11,560	【令和4年度・実績】 受診者 934名	・職場での健診実施等、機会提供及び 利便性向上 ・契約健診機関の拡充	・受診率が低い・対象者の生活習慣病健診への抵抗感、健診の必要性の低意識	3
	3,4	婦人科健診	・婦人科健診の案内文書を事業所経由で配付(被扶養者を含む) [年2回] : 100% ・受診者数:190人→300人	全て	女性		被保険 者,被扶 養者	3,836	【令和4年度・実績】 受診者 204名	・契約健診機関の拡充	・受診率が低い ・対象者の婦人科健診への抵抗感、健 診の必要性の低意識	3
	3,4	定期健診	・定期健診A・Bの案内文書を事業所経由で配付【年2回】: 100% ・受診者数: 定期健診A 1,133人→1,200人、定期健診B 1,398人→1,40 0人	全て	男女	18 ~ 74	被保険者	19,435	【令和4年度・実績】 受診者 2,663名	・職場での健診実施等、機会提供及び 利便性向上 ・契約健診機関の拡充	・受診率が低い	5
	3,4	共同巡回健診 ・全国巡回健 診	・健診を利用できる対象者には個別通知し(100%)、希望者を募集 ・受診者数: 共同巡回健診 260人→400人、全国巡回健診 31人→100人	全て	女性		被保険 者,被扶 養者	4,604	【令和4年度・実績】 受診者 共同巡回健診 170名 受診者 全国巡回健診 38名	・近隣での健診実施等、機会提供及び 利便性向上・健診会場の拡充	・受診率が低い ・対象者の婦人科健診への抵抗感、健 診の必要性の低意識	2
	3,4	巡回レディー ス健診	・健診を利用できる対象者には個別通知し(100%)、希望者を募集 ・受診者数: 巡回レディース健診 200人	全て	女性	40 ~ 74	被扶養 者	3,513	【令和4年度・実績】 受診者 144名	・近隣での健診実施等、機会提供及び 利便性向上・健診会場の拡充	・受診率が低い ・対象者の婦人科健診への抵抗感、健 診の必要性の低意識	3
	3,4	大腸がん検診	・大腸がん検診の案内文書を事業所経由で配付: 100% ・受診者数: 419人→500人	全て	男女	35 ~ 74	被保険者	881	【令和4年度・実績】 受診者 513名	・郵送、自己採取による検査のしやすさ	・受診率が低い	5
	4	重症化予防	事業主との連携実施二次検査の必要性に関する理解度医療機関への新規および継続受診の促進	全て	男女	18 ~ 74	加入者全員	-	-	_		-
	5	メンタルヘル スカウンセリ ング	・メンタルヘルスに関する相談をカウンセラーが電話相談又は面談で 行う	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	723	【令和4年度・実績】 利用者 9名	・利用者の要望に応じて面談・電話相談が利用可能・勤務時間外の対応可能	・被扶養者に対する周知	4
	5	卒煙プロジェ クト		全て	男女	20 ~ 74	加入者全員	306	【令和4年度・実績】 利用者 7名	・喫煙対象者へDMはがきの発送	・事業所との連携不足 ・対象者の喫煙リスクに対する理解不 足	3
体育奨励	5	野球大会	・参加チーム数:前年度比1チーム増加	全て	男女	18 ~ 74	被保険者	350	[令和4年度・実績] 参加チーム 12チーム	・継続的な実施による事業の定着	・参加チームの固定化	2
	5	ウォ―キング 事業	-	全て	男女	0 ~ 74	加入者全員	11	【令和4年度・実績】 参加者 21名	・当健保組合のホームページに概要を 掲載	・参加者の固定化	1

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1.39%以下 2.40%以上 3.60%以上 4.80%以上 5.100%

		対象者		振り返り		#周
事業名	事業の目的および概要	資格 性別 年 齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	実施

事業主の取組

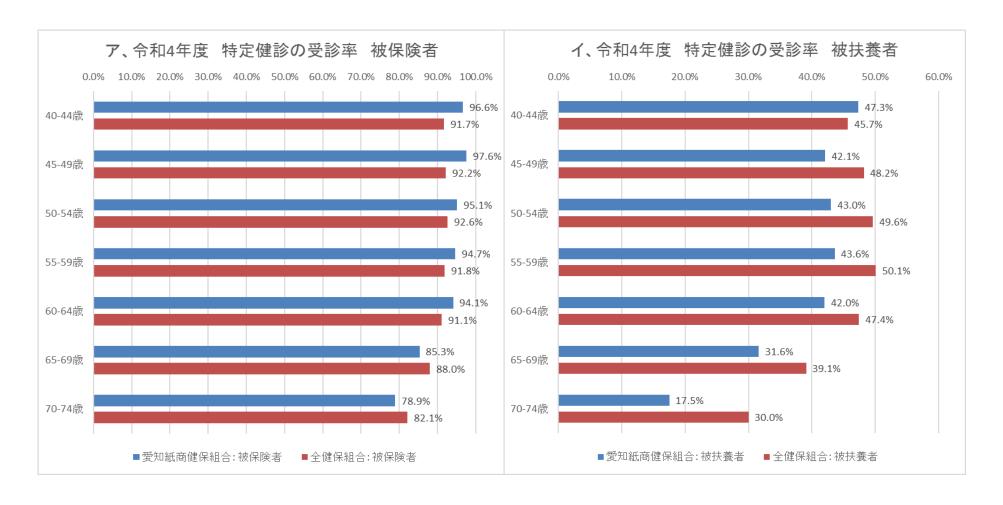
STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア	7. 1722-0-504-2	特定健診の実施状況	特定健診分析	・他の健保組合より、被扶養者の受診率が低い。 → (被保険者) 労働安全衛生法に基づく定期健康診断として実施している事業所が多い。但し、健診受診率0%(健診結果未提出)の事業所が6社ある。 → (被扶養者) 健診の重要性を認識していない者が多くいることが考えられる。また、健診の周知率が低いことも考えられる。
7	- (12000000000000000000000000000000000000	特定保健指導の実施状況等①	特定保健指導分析	・他の健保組合より、被保険者および被扶養者の実施率が低い。 → 特定保健指導の重要性の周知が必要と考えられる。 → 各種広報活動(機関誌、通知文、電話、事業所訪問等)、事業主との連携(コラボヘルス)を図って実施率向上を進めていく。
Ċ	C. STATEMENT AND ADMINISTRATION OF THE PROPERTY OF THE PROPERT	特定保健指導の実施状況②	特定保健指導分析	・メタボリックシンドローム該当者(被扶養者)の減少率が他の健保組合より低い。 →特定保健指導の実施率が低かったことが原因として考えられるほか、特定保健指導以外に、生活習慣病のリスク保有者への対策を行っていなかったことが背景として考えられる。 ・特定保健指導対象者の減少率が他の健保組合より低い。 →65~74歳の前期高齢者になると、医療機関への受診機会が多くなって、生活習慣病にかかる薬を服用することにより、特定保健指導の対象から外れるケースが増加するためと考えられる。
I	L JANUARIO CONTROLLA DE LA CON	一人当たり医療費・被保険者	医療費·患者数分析	・被保険者の一人当たり医療費は、新生物(がん)、循環器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患の順に高い。 ・特に新生物(がん)の一人当たり医療費は他の健保組合より高い。 ・新生物(がん)の一人当たり医療費では他の健保組合より突出して高い「気管・肺の悪性新生物」が着目すべき疾患である。 ・循環器系疾患の一人当たり医療費では高血圧性疾患、その他の心疾患、脳梗塞の順に高い。
才	F. JANUARISE	一人当たり医療費・被扶養者	医療費・患者数分析	・被扶養者の一人当たり医療費は、呼吸器系疾患、重症急性呼吸器症候群(コロナ)、皮膚・皮下組織疾患、循環器系疾患の順に高い。 ・特に循環器系疾患の一人当たり医療費は他の健保組合より高い。 ・呼吸器系疾患の一人当たり医療費ではいわゆる風邪にあたるものが合算すると高く、アレルギー性鼻炎(花粉症)、喘息の順に高い。 ・新生物(がん)の一人当たり医療費は良性新生物、乳房の悪性新生物、その他の悪性新生物の順に高い。

カ	AANNO 45 - 430 56	一人当たり医療費・生活習慣病	医療費・患者数分析	・被保険者の生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費は、糖尿病が突出して高い。 ・糖尿病、高血圧症、高脂血症のいわゆる3大生活習慣病が高くなっている。 ・被扶養者の生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費は、人工透析、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順に高い。 ・特に人工透析は人数は少ない(1名)が金額が高いので、一人当たり医療費は高い。
‡	4. \$2000	健康分布図	健康リスク分析	・肥満、非肥満ともに、「保健指導基準値以上」、「受診勧奨基準値以上」の割合は他の健保組合より高い。 ・男女別にみると、「肥満」の割合は男性:45.75%、女性:19.61%と男性が圧倒的に高い。 ・「肥満」「非肥満」のうち、「基準範囲内」の者は男性:23.86%、女性:47.64%となっており、男性の約7割が何らかのリスクを保有している。
Þ	S. DESTRUCTION OF STATE OF STA	糖尿病リスクフローチャート	健康リスク分析	【糖尿病リスクと医療機関への受診状況(令和4年度実施分)】 → 受診勧奨基準値以上(HbA1c 6.5%以上)で「糖尿病レセプトなし」や「 生活習慣病のレセプトなし」の医療機関未受診者が一定数存在する。「糖 尿病レセプトなし」… 25名、「生活習慣病のレセプトなし」… 39名 → 特に再掲にあるHbA1c 8.4%以上の高数値者も22名存在する。 → 「糖尿病レセプトあり」でも数値がコントロールできてなかったり、 服薬していなかったりと数値が高い者が存在する。「HbA1c 6.5%以上」… 89名
ケ	7. 12896-1748-880789-812	脳卒中・心筋梗塞等リスクフローチャート	健康リスク分析	【脳卒中・心疾患リスクと医療機関への受診状況(令和4年度実施分)】 → 受診勧奨基準値以上(血圧 140以上又は、90以上)で「高血圧レセプトなし」や「生活習慣病のレセプトなし」の医療機関未受診者が一定数存在する。「高血圧レセプトなし」… 36名、「生活習慣病のレセプトなし」… 477名 → 特に再掲にある血圧 180以上又は、110以上の高数値者も35名存在する。 →「高血圧レセプトあり」でも数値がコントロールできてなかったり、服薬していなかったりと数値が高い者が存在する。「血圧 140以上又は、90以上」… 202名
	NUMBER TRANSPORT CONTROL TRANSPORT TRANSPO	問診票の状況	その他	・運動習慣がある者(特定健診問診項目)の割合は他の健保組合よりやや高い。 ・運動する機会を増やし、新たに運動を始める者を増やす。 ・喫煙率は低下傾向にあるが、他の健保組合より高い。 ・喫煙関連疾病を予防し、医療費低減につなげるため、禁煙支援を強化するとともに、禁煙を維持できる職場の環境整備を推進することが重要と考えられる。
Ħ	・ 東京集員の情報は、「中心を基づき物館」 ・ 東京集員の情報は、「中心を基づき物館」 ・ 東京集員の情報は、「中心を基づき物館」 ・ 「中心を基づきからなった」 ・ 「中心を表示している。」	後発医薬品の使用状況	後発医薬品分析	・後発医薬品の使用割合は他の健保組合と同程度である。 ・2023(令和5)年度末までに後発医薬品の数量シェアを全ての都道府県で8 0%以上とする政府目標があることを踏まえ、引き続き、ジェネリック医薬 品促進通知を送付する。

ア、特定健診の実施状況

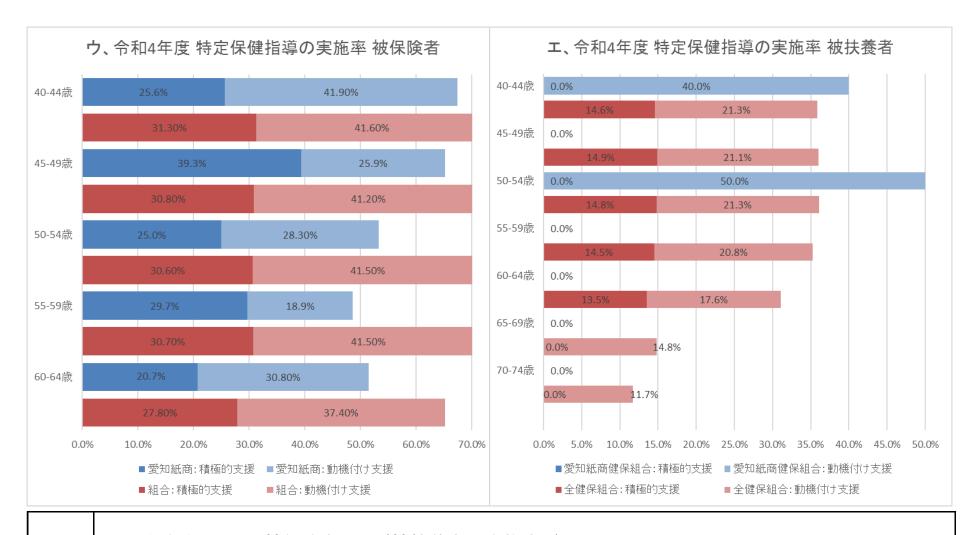


他の健保組合より、被扶養者の受診率が低い。

ア、イ

- →(被保険者) 労働安全衛生法に基づく定期健康診断として実施している事業所が多い。但し、健診受診 率0%(健診結果未提出)の事業所が6社ある。
- →(被扶養者) 健診の重要性を認識していない者が多くいることが考えられる。また、健診の周知率が低いことも考えられる。

イ、特定保健指導の実施状況等①

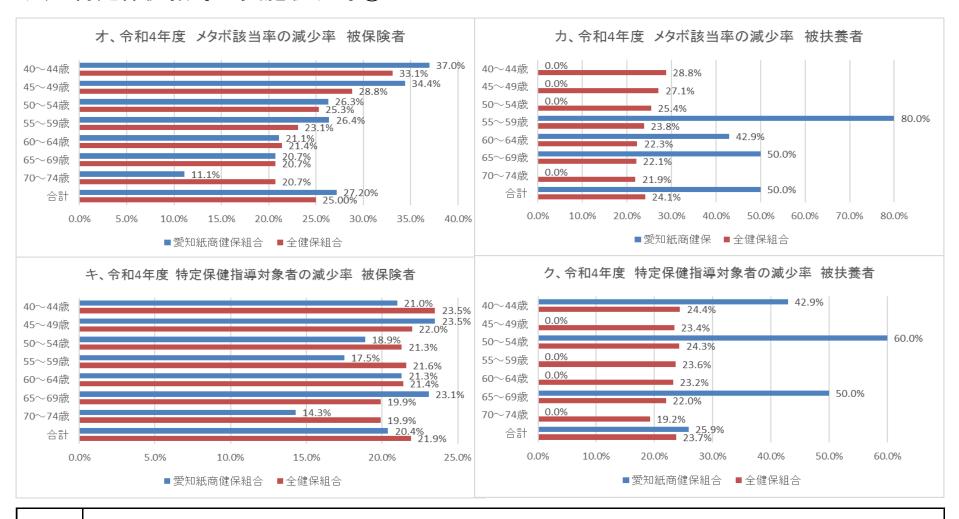


他の健保組合より、被保険者および被扶養者の実施率が低い。

ウ、エ

- →特定保健指導の重要性の周知が必要と考えられる。
- →各種広報活動(機関誌、通知文、電話、事業所訪問等)、事業主との連携(コラボヘルス)を図って実施 率向上を進めていく。

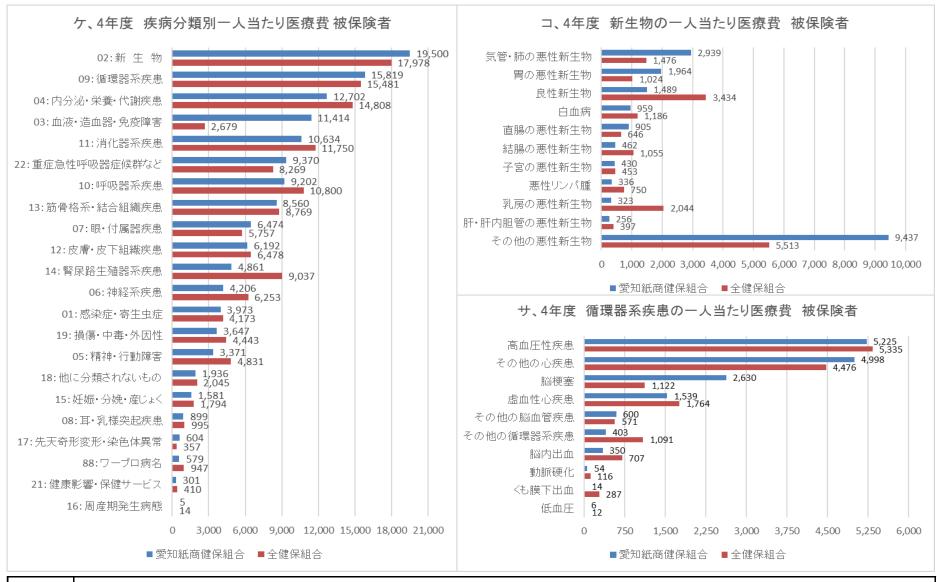
ウ、特定保健指導の実施状況等②



オ、カ
→特定保健指導の実施率が低かったことが原因として考えられるほか、特定保健指導以外に、生活習慣病のリスク保有者への対策を行っていなかったことが背景として考えられる。

特定保健指導対象者の減少率が他の健保組合より低い。
→65~74歳の前期高齢者になると、医療機関への受診機会が多くなって、生活習慣病にかかる薬を服用することにより、特定保健指導の対象から外れるケースが増加するためと考えられる。

エ、一人当たり医療費・被保険者

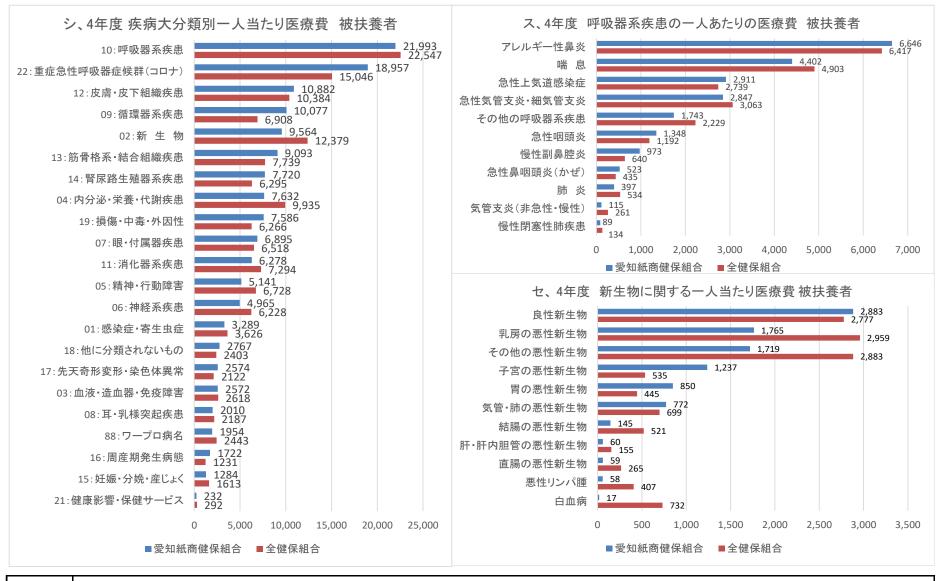


- ・被保険者の一人当たり医療費は、新生物(がん)、循環器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患の順に高い。
- ・特に新生物(がん)の一人当たり医療費は他の健保組合より高い。

ケ

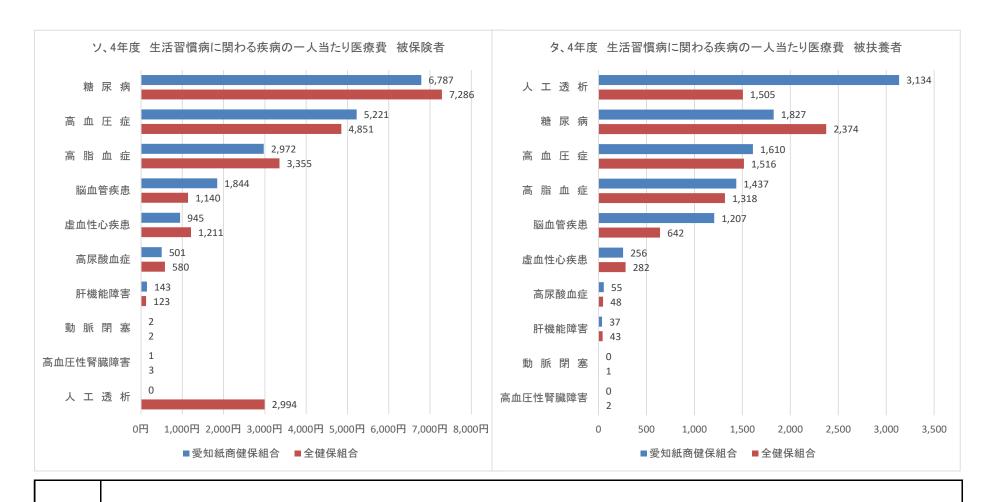
コ、サ ・新生物(がん)の一人当たり医療費では他の健保組合より突出して高い「気管・肺の悪性新生物」が着目すべき疾患である。 ・循環器系疾患の一人当たり医療費では高血圧性疾患、その他の心疾患、脳梗塞の順に高い。

オ、 一人当たり医療費・被扶養者



- ・被扶養者の一人当たり医療費は、呼吸器系疾患、重症急性呼吸器症候群(コロナ)、皮膚・皮下組織疾患、循環器系疾患の順に高い。・特に循環器系疾患の一人当たり医療費は他の健保組合より高い。
- 特に加採品水が心の パヨたり色派員は他の庭体組合より同じ
- ス、セ ・呼吸器系疾患の一人当たり医療費ではいわゆる風邪にあたるものが合算すると高く、アレルギー性鼻炎(花粉症)、喘息の順に高い。 ・新生物(がん)の一人当たり医療費は良性新生物、乳房の悪性新生物、その他の悪性新生物の順に高い。

カ、 一人当たり医療費・生活習慣病



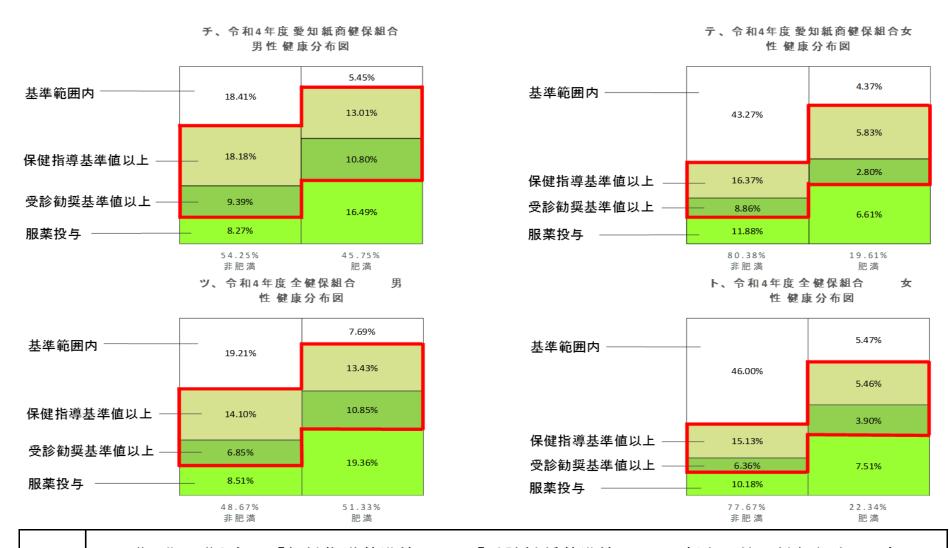
ソ

- ・被保険者の生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費は、糖尿病が突出して高い。
- ・糖尿病、高血圧症、高脂血症のいわゆる3大生活習慣病が高くなっている。

タ

- ・被扶養者の生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費は、人工透析、糖尿病、高血圧症、高脂血症の順に高い。
- ・特に人工透析は人数は少ない(1名)が金額が高いので、一人当たり医療費は高い。

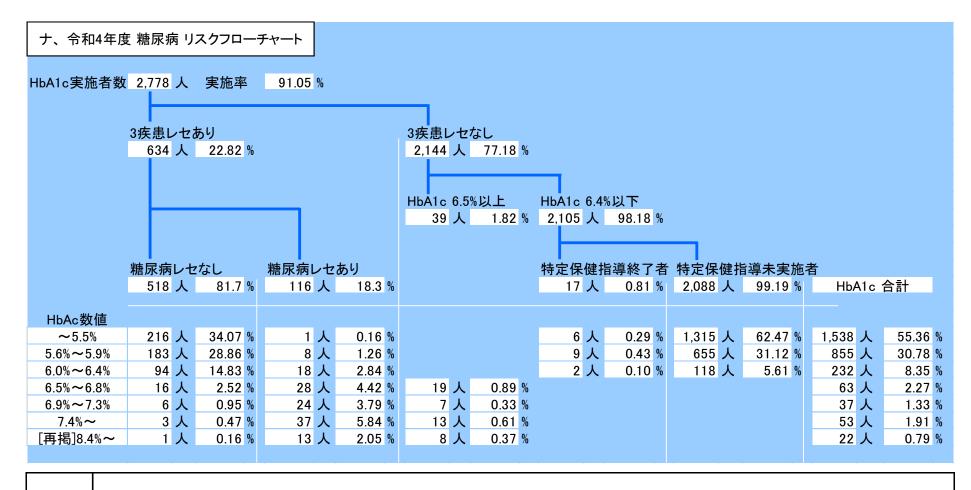
キ、健康分布図



チ、ツ、 テ、ト

- ・肥満、非肥満ともに、「保健指導基準値以上」、「受診勧奨基準値以上」の割合は他の健保組合より高い。
- ・男女別にみると、「肥満」の割合は男性:45.75%、女性:19.61%と男性が圧倒的に高い。
- ・「肥満」「非肥満」のうち、「基準範囲内」の者は男性:23.86%、女性:47.64%となっており、男性の約7割が何らかのリスクを保有している。

ク、 生活習慣病リスクと医療機関の受診状況等①

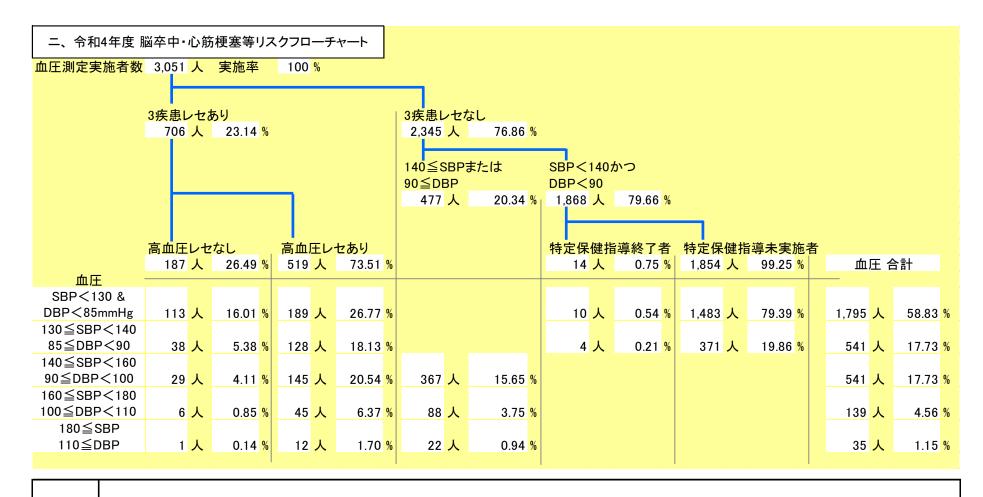


【糖尿病リスクと医療機関への受診状況(令和4年度実施分)】

ナ、

- →受診勧奨基準値以上(HbA1c 6.5%以上)で「糖尿病レセプトなし」や「生活習慣病のレセプトなし」の医療機関未受診者が一定数存在する。「糖尿病レセプトなし」…25名、「生活習慣病のレセプトなし」…39名
- →特に再掲にあるHbA1c 8.4%以上の高数値者も22人存在する。
- →「糖尿病レセプトあり」でも数値がコントロールできてなかったり、服薬していなかったりと数値が高い者が存在する。 「HbA1c 6.5%以上」…89名

ケ、 生活習慣病リスクと医療機関の受診状況等②

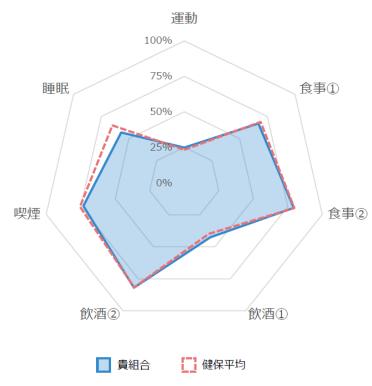


【脳卒中・心疾患リスクと医療機関への受診状況(令和4年度実施分)】

- →受診勧奨基準値以上(血圧 140以上又は、90以上)で「高血圧レセプトなし」や「生活習慣病のレセプトなし」の医療機関未受診者が一定数存在する。「高血圧レセプトなし」…36名、「生活習慣病のレセプトなし」…477名
- →特に再掲にある血圧 180以上又は、110以上の高数値者も35人存在する。
- →「高血圧レセプトあり」でも数値がコントロールできてなかったり、服薬していなかったりと数値が高い者が存在する。「血圧 140以上又は、90以上」…202名

コ、問診票の状況

【問診票の状況(2022年度)】



※レーダーチャートの図形は大きいほど良い状態

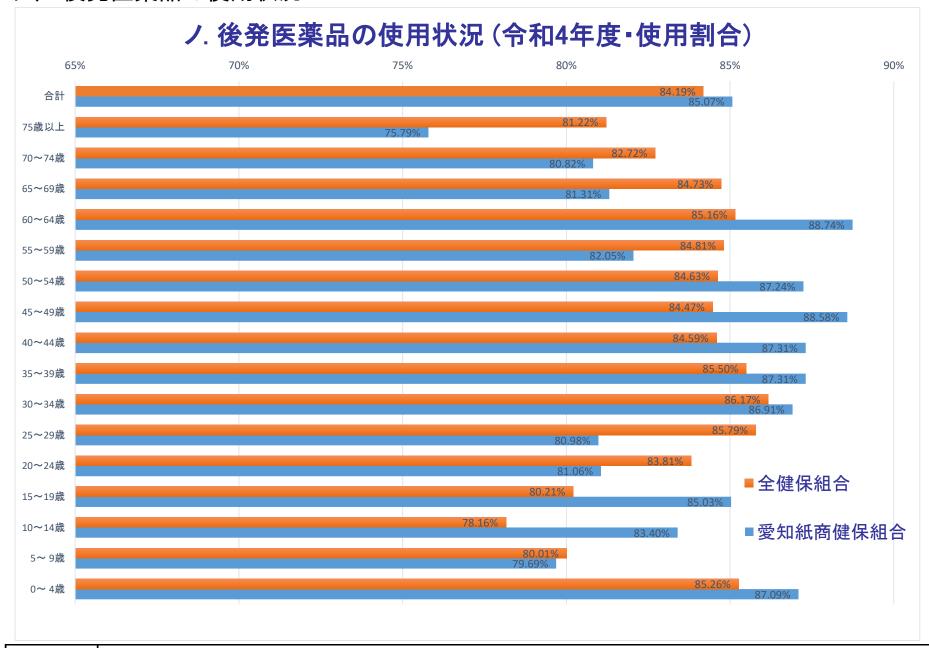
		2020年度	2021年度	2022年度	健保平均 (2020年度)
運動	1回30分以上の軽く汗をかく運動を 週2日以上、1年以上実施	23.9%	24.0%	24.8%	23.3%
食事①	就寝前2時間以内に夕食をとることが 週に3回未満	69.1%	66.8%	67.0%	68.9%
食事②	朝食を抜く頻度が週に3回未満	81.4%	80.0%	79.3%	79.7%
飲酒①	飲酒をほとんどしない	42.5%	42.7%	42.5%	39.9%
飲酒②	1日あたり飲酒量が2合未満	81.4%	83.6%	82.0%	81.7%
喫煙	現時点で喫煙習慣がない	71.8%	72.6%	73.1%	75.5%
睡眠	睡眠で十分な休養がとれている	60.3%	59.6%	57.0%	64.9%

※健保平均より数値が小さい場合にハイライトしています

ヌ	・運動習慣がある者(特定健診問診項目)の割合は他の健保組合よりやや高い。
^	・運動する機会を増やし、新たに運動を始める者を増やす。
	・喫煙率は低下傾向にあるが、他の健保組合より高い。
ネ	・喫煙関連疾患を予防し、医療費低減につなげるため、禁煙支援を強化するとともに、禁煙を維持できる職場の
	環境整備を推進することが重要と考えられる。

サ、後発医薬品の使用状況

ノ、



- ・後発医薬品の使用割合は他健保組合と同程度である。
- ・2023(令和5)年度末までに後発医薬品の数量シェアを全ての都道府県で80%以上とする政府目標があることを踏まえ、引き続き、ジェネリック医薬品促進通知を送付する。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	他の健保組合より、被扶養者の受診率が低い。 →(被保険者)労働安全衛生法に基づく定期健康診断として実施している事業所が多い。但し、健診受診率0%(健診結果未提出)の事業所が6社ある。 →(被扶養者)健診の重要性を認識していない者が多くいることが考えられる。また、健診の周知率が低いことも考えられる。	→	健診受診率対策として、巡回健診等を導入しているが、一定の効果で留まっており、新規受診層の掘り起こし対策としてインセンティブ事業等を検討する。	~
2	+	・肥満、非肥満ともに、「保健指導基準値以上」、「受診勧奨基準値以上」の割合は他の健保組合より高い。 ・男女別にみると、「肥満」の割合は男性:45.75%、女性:19.61%と男性が圧倒的に高い。 ・「肥満」「非肥満」のうち、「基準範囲内」の者は男性:23.86%、女性:47.64%となっており、男性の約7割が何らかのリスクを保有している。	→	重症化予防事業の促進。 特に糖尿病、高血圧、CKDをターゲットとしたハイリスク者への積極的 な介入が必要。	
3	Ź	→ 受診勧奨基準値以上(HbA1c 6.5%以上)で「糖尿病レセプトなし」や「生活習慣病のレセプトなし」の医療機関未受診者が一定数存在する。「糖尿病レセプトなし」… 25名、「生活習慣病のレセプトなし」… 39名 → 特に再掲にあるHbA1c 8.4%以上の高数値者も22名存在する。 → 「糖尿病レセプトあり」でも数値がコントロールできてなかったり、服薬していなかったりと数値が高い者が存在する。「HbA1c 6.5%以上」… 89名	→	重症化予防事業の促進。 特に糖尿病、高血圧、CKDをターゲットとしたハイリスク者への積極的な介入が必要。 血糖をテーマに早期治療の為の二次検査の受診勧奨を検討する。 → 受診勧奨	
4	Υ	→受診勧奨基準値以上(血圧 140以上又は、90以上)で「高血圧レセプトなし」や「生活習慣病のレセプトなし」の医療機関未受診者が一定数存在する。「高血圧レセプトなし」… 36名、「生活習慣病のレセプトなし」… 477名 → 特に再掲にある血圧 180以上又は、110以上の高数値者も35名存在する。 →「高血圧レセプトあり」でも数値がコントロールできてなかったり、服薬していなかったりと数値が高い者が存在する。「血圧 140以上又は、90以上」… 202名	>	重症化予防事業の促進。 特に糖尿病、高血圧、CKDをターゲットとしたハイリスク者への積極的な介入が必要。	
5	Ħ	・後発医薬品の使用割合は他の健保組合と同程度である。 ・2023(令和5)年度末までに後発医薬品の数量シェアを全ての都道府県で80 %以上とする政府目標があることを踏まえ、引き続き、ジェネリック医薬品 促進通知を送付する。	→	増え続ける調剤医療費の抑制のため、ジェネリック医薬品の利用促進を 行う。	~
6	-	・運動習慣がある者(特定健診問診項目)の割合は他の健保組合よりやや高い。 ・運動する機会を増やし、新たに運動を始める者を増やす。 ・喫煙率は低下傾向にあるが、他の健保組合より高い。 ・喫煙関連疾病を予防し、医療費低減につなげるため、禁煙支援を強化するとともに、禁煙を維持できる職場の環境整備を推進することが重要と考えられる。	→	運動する機会を増やし、新たに運動を始める者を増やす。 禁煙支援を強化。	•

7	・他の健保組合より、被保険者および被扶養者の実施率が低い。 → 特定保健指導の重要性の周知が必要と考えられる。 → 各種広報活動(機関誌、通知文、電話、事業所訪問等)、事業主との連携(コラボヘルス)を図って実施率向上を進めていく。	>	特定保健指導については、被保険者は事業主との提携について更なる関係強化を実施し、被扶養者については、健診同様にインセンティブ事業等について検討する。	~
カ 8	・被保険者の生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費は、糖尿病が突出して高い。 ・糖尿病、高血圧症、高脂血症のいわゆる3大生活習慣病が高くなっている。 ・被扶養者の生活習慣病に関わる疾病の一人当たり医療費は、人工透析、糖 尿病、高血圧症、高脂血症の順に高い。 ・特に人工透析は人数は少ない(1名)が金額が高いので、一人当たり医療費 は高い。	→	事業所を特定して、その事業所の経営者等と協働し、健康的な職場風土の情勢など、職場環境の整備を進める。 → コラボヘルス	•
T	・被保険者の一人当たり医療費は、新生物(がん)、循環器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患の順に高い。 ・特に新生物(がん)の一人当たり医療費は他の健保組合より高い。 ・新生物(がん)の一人当たり医療費では他の健保組合より突出して高い「気管・肺の悪性新生物」が着目すべき疾患である。 ・循環器系疾患の一人当たり医療費では高血圧性疾患、その他の心疾患、脳梗塞の順に高い。	→	循環器系疾患は予防対策が可能である為、特定健診データからリスク者を特定して対策を講じていく。 年代は50歳から増加傾向にある為、その少し手前である40代を含めた対策を実施する必要がある。	•
ウ 10	・メタボリックシンドローム該当者(被扶養者)の減少率が他の健保組合より低い。 →特定保健指導の実施率が低かったことが原因として考えられるほか、特定保健指導以外に、生活習慣病のリスク保有者への対策を行っていなかったことが背景として考えられる。 ・特定保健指導対象者の減少率が他の健保組合より低い。 →65~74歳の前期高齢者になると、医療機関への受診機会が多くなって、生活習慣病にかかる薬を服用することにより、特定保健指導の対象から外れるケースが増加するためと考えられる。	→	特定保健指導については、被保険者は事業主との提携について更なる関係強化を実施し、被扶養者については、健診同様にインセンティブ事業等について検討する。	•
才 11	・被扶養者の一人当たり医療費は、呼吸器系疾患、重症急性呼吸器症候群(コロナ)、皮膚・皮下組織疾患、循環器系疾患の順に高い。 ・特に循環器系疾患の一人当たり医療費は他の健保組合より高い。 ・呼吸器系疾患の一人当たり医療費ではいわゆる風邪にあたるものが合算すると高く、アレルギー性鼻炎(花粉症)、喘息の順に高い。 ・新生物(がん)の一人当たり医療費は良性新生物、乳房の悪性新生物、その他の悪性新生物の順に高い。	→	年代別の有病者数を確認し、有病者の多い年代へのがん検診の補助等の 見直しや広報活動による受診促進対策が必要。 → 重症化予防	

基本情報

No.	特徴	対策検討時に留意すべき点
110.	13 F-X	/ A I A I A I A I A I A I A I A I A I A

- ・40歳代に加入者構成が偏っている。
- ・事業主の拠点が全国にあり、加入者も点在している。
- ・加入事業所が多いため、各事業所との関係が単一型と比較すると薄くなる傾向にあり、事業主と協働(コラボヘルス)しづらいことがあげられる。



- ・10年後を見据えた若年層へのアプローチの必要性
- ・事業主と協働(コラボヘルス)する体制の整備

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・生活習慣病のリスク保有者への対策は、特定保健指導が中心である。・各種事業の参加者及び受診者が固定化されている。・機関誌を自宅へ持ち帰らない被保険者が多い。	>	・生活習慣病対策事業の整備 ・健保が発信する情報を確実に加入者へ伝える方法の検討

STEP3 保健事業の実施計画

事業全体の目的 一人当たり医療費を低減させることを目的とする。 そのためにハイリスク者に対する特定保健指導実施率及び継続率の向上を目指す。 さらに保健事業の基盤整備に着手し、将来的なハイリスク者の発生を抑えるための職場づくりを行う。

事業全体の目標

7年上降の日保 ハイリスク者の特定保健指導実施率及び継続率を向上させる。 一人当たり医療費を全健保組合の平均値以下に減少する。

事業の一覧	
職場環境の整備	
保健指導宣伝	健康管理委員会
保健指導宣伝	健康宣言支援事業
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関誌発行
保健指導宣伝	冊子配付
保健指導宣伝	ホームページ開設
個別の事業	
特定健康診査事業	受診案内
特定健康診査事業	集合契約による特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品促進通知
保健指導宣伝	つよい子キャンペーン
疾病予防	簡易人間ドック
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	婦人科健診
疾病予防	定期健診
疾病予防	共同巡回健診・全国巡回健診
疾病予防	巡回レディース健診
疾病予防	大腸がん検診
疾病予防	メンタルヘルスカウンセリング
疾病予防	重症化予防
疾病予防	禁煙サポート
体育奨励	野球大会
体育奨励	ウォーキング事業

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

事業 ″			対象	者	注2)	注3)		注4) ストラク					額(千円) 施計画			市業口福	A 4
刀類	事業名	対象事業所	性別	年 対象	実施主体	プロセス 分類	実施方法	チャー	実施体制	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	事業目標	健康課題との関連
15	-	事業所	ガ	節			<u> </u> アウトプット指標	刀規						アウト	<u> </u> カム指標		
環境の整	備																
	₹ 健康管理委員 ₹ 会	員 全て	. 男女	18 ~ 被保 74 者	険 3	ケ		7'	-					・事業所代表者と健保組 ・		・事業所の健康課題の理解度100%	該当なし
	【実績値】90% 表者と健保組合					17年度:10	0% 令和8年度:100%	令和9年度:	:100% 令和10年度:100	% 令和11年度:100%)・	理解度(【実績値】90%	【目標値】令和6年度:10	0% 令和7年度:100% -	令和8年度:100% 令和9年	F度:100% 令和10年度:	100% 令和11年度:100%)・事業所の健康	 東課題の理解度100%
	f 健康宣言支払 引事業	爱を全て	男女	18 加入等~ 全員		⁷	_	7'	_	状況を説明 健康課題を明示すること を通じて、必要な健康対	状況を説明 健康課題を明示すること を通じて、必要な健康対	状況を説明 健康課題を明示すること を通じて、必要な健康対	状況を説明 健康課題を明示すること を通じて、必要な健康対	事業所に当該集団の健康 状況を説明 健康課題を明示すること を通じて、必要な健康対 策への協力・参加を促す	状況を説明 健康課題を明示すること を通じて、必要な健康対	健康宣言提出事業所の増加	・被保険者の一人当たり医療、新生物(がん)、循環器系疾見分泌・栄養・代謝疾患の順に。。特に新生物(がん)の一人当力療費は他の健保組合より高い、新生物(がん)の一人当たり間では他の健保組悪性の一人当たり間がでは他の健保組悪を表表。・循環器系血圧性疾患、脳梗塞の順に高い。・肥満、非肥満、、「保護基準値以上」の割合は他の健保組り高い。・男女別にみると、「下に満」「非肥満」のうち、「明満」「非肥満」のうち、「肥満」「非肥満」のうち、「に、「明満」「非肥満」のうち、「に、「明典性が圧倒的に高い。・「に、「明典性が圧倒的に高い。・「に、「明満」「非肥満」のうち、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「は、いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「いた」と、「ないた」に、「いた」と、「いた」と、「ないた」と、「いた」、「いた」、「いた」、「
	≖¬ <i>+</i> / 『 r->//	T 1000/		1 A Inch	. 100	0/ 0/1076	A Tracket	. 1000/ - 0.5									基準範囲内」の者は男性:23 、女性:47.64%となっており 性の約7割が何らかのリスクな している。
建康白書 00%)・す	配布(【実績値 「べての事業所	】100% fへの健康!	【目標値 白書配布	】令和6年	度:100 ⁰	% 令和7年	度:100% 令和8年度	:100% 令和	119年度:100% 令和10年	度:100% 令和11年度:1	- 事業所の健康状況の理解(【実績値】100% 【目標	直】令和6年度:100% 令	和7年度:100% 令和8年	度:100% 令和9年度:10	0% 令和10年度:100% 令和11年度:10	基準範囲内」の者は男性: 23 、女性: 47.64%となっており 性の約7割が何らかのリスク している。
建康白書 00%)・す 番への意		i】100% fへの健康!	【目標値 白書配布	】令和6年	度:100 ⁰	% 令和7年	度:100% 令和8年度	:100% 令和	119年度:100% 令和10年	度:100% 令和11年度:1	事業所の健康状況の理解(【実績値】100% 【目標	直】令和6年度:100% 令	和7年度:100% 令和8年月	度:100% 令和9年度:10	0% 令和10年度:100% 令和11年度:10	基準範囲内」の者は男性:23 、女性:47.64%となっており 性の約7割が何らかのリスクな している。
者への意			. 男女	】令和6年 18 ~ 被保 74		% 令和7年 ス	度:100% 令和8年度 -	:100% 令和 シ シ	119年度:100% 令和10年。 -	・機関誌(健保の運営、収	・機関誌(健保の運営、収	・機関誌(健保の運営、収	・機関誌(健保の運営、収	和7年度:100% 令和8年点 - ・機関誌(健保の運営、収 支、健康診断および公告) の発行 ・年2回(4・9月)	・機関誌(健保の運営、収		基準範囲内」の者は男性: 23 、女性: 47.64%となっており 性の約7割が何らかのリスク している。
者への意 5 存 配付率(機関誌発行	全で	. 男女	18 ~ 被保P ~ 者	^険 1	z	-	٤	-	・機関誌(健保の運営、収 支、健康診断および公告) の発行	・機関誌(健保の運営、収 支、健康診断および公告) の発行 ・年2回 (4・9月)	- ・機関誌(健保の運営、収 支、健康診断および公告) の発行 ・年2回 (4・9月)	- ・機関誌(健保の運営、収 支、健康診断および公告) の発行	- !・機関誌(健保の運営、収 支、健康診断および公告) の発行	・機関誌(健保の運営、収 支、健康診断および公告) の発行	・事業所経由での配付	基準範囲内」の者は男性: 2: 、女性: 47.64%となってお 性の約7割が何らかのリスク している。 00%)-
者への意 5 切っ 5 中 6 中 8	載づけ 提機関誌発行 実績値】1000 経由での配付	全て % 【目標 対象者の10	. 男女 標値】令和 00%)	18 ~ 被保P ~ 者	⁾ 1	z	-	٤	-	・機関誌(健保の運営、収 支、健康診断および公告) の発行 ・年2回 (4・9月) 0% 令和11年度:100%)	- ・機関誌(健保の運営、収 支、健康診断および公告) の発行 ・年2回 (4・9月)	- ・機関誌(健保の運営、収 支、健康診断および公告) の発行 ・年2回 (4・9月) いません)	- ・機関誌(健保の運営、収 支、健康診断および公告) の発行 ・年2回 (4・9月)	- 2. ・機関誌(健保の運営、収 支、健康診断および公告) の発行 ・年2回 (4・9月)	・機関誌(健保の運営、収 支、健康診断および公告) の発行	・事業所経由での配付	基準範囲内」の者は男性: 2: 、女性: 47.64%となってお性の約7割が何らかのリスクしている。 00%)- 該当なし(これまでの経緯等施する事業)
5 の意 5 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1 日本 1	載づけ 提機関誌発行 実績値】1009 経由での配付 険者に配付(対	全て % 【目標 対象者の10 全て % 【目標	. 男女 [full] 令和 00%) . 男女	18 被保保 ~ 74 6年度:10 18 被保保 ~ 74	^険 1	ス 和7年度:1 ス	- 00% 令和8年度:100% -	シ 6 令和9年度	-	・機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行 ・年2回(4・9月) 0% 令和11年度:100%)	・機関誌(健保の運営、収 支、健康診断および公告) の発行 ・年2回 (4・9月) - (アウトカムは設定されて ・新規加入者に配付(対	- 機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行・年2回(4・9月) いません) - 新規加入者に配付(対象者の100%)	- 機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行 ・年2回(4・9月)	- 機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行・年2回(4・9月)	・機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告) の発行 ・年2回(4・9月)	・事業所経由での配付 ・全被保険者に配付(対象者の100%)	基準範囲内」の者は男性: 23、女性: 47.64%となっており性の約7割が何らかのリスクしている。 00%)- 該当なし(これまでの経緯等施する事業)
者への意 5 の意 いう意 いう意 いうま でも、 でいう。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい	載づけ 提機関誌発行 実績値】1000 接由での配付(対 映者に配付(対 、表情値】1000 大者に配付(対 、表情値】1000 大者に配付(対 、表情値】1000 大者に配付(対	全て % 【目標 分象者の10 全て % 【目標の10 ジ 全て	. 男女 . 男女 . 男女 . 男女 . 男女	18 被保保者 6年度:10 18 被保者 6年度:10 0~74	策 1 10% 令: 者 1	ス 和7年度:1 ス 和7年度:1	- 00% 令和8年度:100% - 00% 令和8年度:100%	シ 6 令和9年度 シ シ シ	- : 100% 令和10年度: 10 - : 100% 令和10年度: 10	・機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行 ・年2回(4・9月) 0% 令和11年度:100%) ・新規加入者に配付(対象者の100%) ・令和11年度:100%) ・保健事業等の周知のため、ホームページを更新:年12回	・機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行 ・年2回(4・9月) - (アウトカムは設定されて ・新規加入者に配付(対象者の100%) - (アウトカムは設定されて ・保健事業等の周知のため、ホームページを更新:年12回	・機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行・年2回(4・9月) いません) ・新規加入者に配付(対象者の100%) いません) ・保健事業等の周知のた	- 機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行・年2回(4・9月) - 新規加入者に配付(対象者の100%)	- 機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行・年2回(4・9月) - 新規加入者に配付(対象者の100%)	・機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行・年2回(4・9月) ・新規加入者に配付(対象者の100%)	 事業所経由での配付 全被保険者に配付(対象者の100%) 新規加入者に配付(対象者の100%) 	基準範囲内」の者は男性: 23、女性: 47.64%となっており性の約7割が何らかのリスクしている。 00%)- 該当なし (これまでの経緯等施する事業) 該当なし (これまでの経緯等施する事業)
5 - C付事全 - S - S - S - S - S - S - S - S	載づけ 提機関誌発行 実績値】1000 接由での配付(対 映者に配付(対 、表情値】1000 大者に配付(対 、表情値】1000 大者に配付(対 、表情値】1000 大者に配付(対	全て % 【目標 対象者の10 が 対象者の10 ジ 全て	. 男女 . 男女 . 男女 . 男女 	18 被保 74 被保 6年度:10 18 被保 74 度:10 0~74 度:10	策 1 10% 令: 者 1	ス 和7年度:1 ス 和7年度:1	- 00% 令和8年度:100% - 00% 令和8年度:100%	シ 6 令和9年度 シ シ シ	- : 100% 令和10年度: 10 - : 100% 令和10年度: 10	・機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行 ・年2回(4・9月) 0% 令和11年度:100%) ・新規加入者に配付(対象者の100%) ・の% 令和11年度:100%)	・機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行 ・年2回(4・9月) - (アウトカムは設定されて ・新規加入者に配付(対象者の100%) - (アウトカムは設定されて ・保健事業等の周知のため、ホームページを更新:年12回	・機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行 ・年2回(4・9月) いません) ・新規加入者に配付(対象者の100%) いません) ・保健事業等の周知のため、ホームページを更新:年12回	・機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行・年2回(4・9月) ・新規加入者に配付(対象者の100%)	- 機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行・年2回(4・9月) - 新規加入者に配付(対象者の100%)	・機関誌(健保の運営、収支、健康診断および公告)の発行・年2回(4・9月)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・事業所経由での配付 ・全被保険者に配付(対象者の100%) ・新規加入者に配付(対象者の100%)	基準範囲内」の者は男性: 2、女性: 47.64%となってお性の約7割が何らかのリスクしている。 00%)- 該当なし(これまでの経緯・施する事業) 該当なし(これまでの経緯・施する事業)

The content of the	既 存	対象	£		実施	プロセス	()	『施方法					大川 大川	- condition and a second secon			事業日海 (1)	
Part	1子		性別し、	対象者	主体	分類				—	令和 <u>6年度</u>	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令 <u>和11年度</u>	丁 未口标	健康課題との関連
Control Cont		事業所	断				アウトプッ	ット指標 ソト指標	分類	見 「	17.11.2							
************************************	存 () 法 受診案内	全て	40 男女 ~ 74	被保险 者,被法 養者	ŧ 1	þ		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	र्य						全対象者に送付(対象	・全対象者に送付(対象	・全対象者に送付(対象者の100%)	→ (被保険者) 労働安全衛生決 づく定期健康診断として実施しいる事業所が多い。但し、健 診率0%(健診結果未提出)の事
他の関係的な				度:100)% 令	和7年度:1	100% 令和	18年度:100)% 令和9年	F度:100% 令和10年度	度:100% 令和11年度:100%)		いません)					
特別では、												,	· ·					
機変素の機能で表現。1.00% 特別では、1.00% 特別では	集合契約によ法 る特定健診	全て	男女 ~	者,被抗	† 1	'n			オ									→ (被保険者) 労働安全衛生 づく定期健康診断として実施 いる事業所が多い。但し、健 診率0%(健診結果未提出)の事
定権が実施率 [(英献) 8.10%			】令和6年	度:100)% 令	和7年度:1	100% 令和	18年度:100)% 令和94	F度:100% 令和10年度	度:100% 令和11年度:100%)	受診者数(【実績値】38人	【目標値】令和6年度:1	100人 令和7年度:100人	令和8年度:100人 令和9)年度:100人 令和10年度	: 100人 令和11年度: 100人)・受診者数	7:38人→100人
(京 : 55.0%)・			【日播徒	1 	午府・0	5.0% ^ 3	卯7年帝・05	: ∩0% △ €∏0	0年度・05(0%	△和10年度・05 00/2 ○和11							
展展		81.070	【口标框	A TIME	十/支・0.	J.U 70 TJ 4	州1十反:03	о.0 70 тойно Тойно	5 十 /支 · 65.0	70 市相3千度:63.0%	万州10平皮・65.070 万州11	内臓脂肪症候群該当者割合	合(【実績値】14.2% 【目	標値】令和6年度:13.0%	令和7年度:13.0% 令和8	8年度:13.0% 令和9年度	: 13.0% 令和10年度: 13.0% 令和114	F度:13.0%)-
1年度:30.0%) · 特定保健指導実施率:30%以上 : 20%以下	存 (注) (注) (注)	全て	男女 ~	基準認		ケ,コ,サ			ア,ウ									→特定保健指導の実施率かたことが原因として考えられか、特定保健指導以外に、当 慣病のリスク保有者への対象 っていなかったことが背景と
特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】26.4% 【目標値】令和6年度:30.0% 令和7年度:30.0% 令和8年度:30.0% 令和9年度:30.0% 令和10年度:30.0% 令和11年度:30.0% 令和10年度:30.0% 个和10年度:30.0%	•				和6年度	₹:30.0%	令和7年度	30.0%	令和8年度:	30.0% 令和9年度:30	.0% 令和10年度:30.0% 令和	: 20%以下						·
													-	-	-	-		
5 既 医療費通知 全て 男女 2 日本 2 日		全て		加入者	1	þ			シ				・全対象者に送付(対象 者の100%)	・全対象者に送付(対象 者の100%)	・全対象者に送付(対象 者の100%)	・全対象者に送付(対象 者の100%)	・全対象者に送付(対象者の100%)	該当なし(これまでの経緯等 施する事業)
(付率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度:100% 令和7年度:100% 令和8年度:100% 令和9年度:100% 令和10年度:100% 令和11年度:100%) -																		

곷 冷⑴ 新		対象者		注2)	注3)		注4) ストラク チャー	ク 宝施休制								
算事業	業名			実施	プロセス						実施	計画			事業目標	健康課題との関連
科 分類 存	対象事業所	↑ 性別 間	対象者	主体	分類		分類		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
7 既 ジェネリ 医薬品仮 ケ 知 送付率(【実績値】1・対象者に事業所経	200% 【目標	男女 ~ 7 値】令和64		; 1 : %	キ - 17年度:100	ア ウトブット指標 - 0% 令和8年度:100%	シ 令和9年度	:100% 令和10年度:10	送付(被扶養者を含む)【年 3回】: 100% ・対象者:1,000円以上(4 ヵ月合計)自己負担が下が	3回】: 100% ・対象者:1,000円以上(4 ヵ月合計)自己負担が下が る20~74歳の被保険者お よび被扶養者	送付(被扶養者を含む)【年 3回】: 100% ・対象者:1,000円以上(4 ヵ月合計)自己負担が下が る20~74歳の被保険者お よび被扶養者	送付(被扶養者を含む)【年 3回】: 100% ・対象者:1,000円以上(4 ヵ月合計)自己負担が下が る20~74歳の被保険者お よび被扶養者	・対象者に事業所経由で 三 送付(被扶養者を含む)【年 3回】: 100% ・対象者:1,000円以上(4 カ月合計)自己負担が下が る20~74歳の被保険者お よび被扶養者	送付(被扶養者を含む)【年 3回】: 100% ・対象者:1,000円以上(4 ヵ月合計)自己負担が下が る20~74歳の被保険者お よび被扶養者	・対象者に事業所経由で送付(被扶養者を含む)【年3回】: 100% ・対象者:1,000円以上(4ヵ月合計)自己負担が下がる20~74歳の被保険者および被扶養者 ・ジェネリック医薬品使用割合:70%以上	・2023(令和5)年度末までに後発医薬品の数量シェアを全ての都道府県で80%以上とする政府目標があることを踏まえ、引き続き、ジェネリック医薬品促進通知を送付する。
対象者に事業が招対象者:1,000円			,			および被扶養者				区用部口(【大根框】61.05	0 【日标吧】 7/110千皮。	00% 节和7年皮、00%	万和6年/支:6070 万和5=	F皮、0070 节州10平皮、0	00% 〒和11千度・00%)・フェネックノ区:	采加区用引占:60%以上
5 新 つよい子 5 規 ンペーン	全(男女	3 ~ 被扶養 5 者	1	ア -		シ	_		・つよい子キャンペーン の参加案内を対象者宛て 送付 : 100%				0 0 to	・つよい子キャンペーンの参加案内を対象 者宛て送付 : 100%	・被扶養者の一人当たり医療費は 、呼吸器系疾患、重症急性呼吸器 症候群(コロナ)、皮膚・皮下組織疾 患、循環器系疾患の順に高い。 ・特に循環器系疾患の一人当たり 医療費は他の健保和一人当たり医療 費ではいわゆる風邪にあたるもの が合算すると高く、アレルギー性 鼻炎(花粉症)、喘息の順に高い。 ・新生物(がん)の一人当たり医療費 は良性新生物、乳房の悪性新生物 、その他の悪性新生物の順に高い。
						0% 令和8年度:100%	令和9年度	:100% 令和10年度:10	0% 令和11年度:100%)	参加者数(【実績値】24人	【目標値】令和6年度:5	0人 令和7年度:50人 令	· ○和8年度:50人 令和9年月	度:50人 令和10年度:50 <i>,</i>	· 人 令和11年度:50人)-	
・つよい子キャンペ	ペーンの参加案	内を対象者	宛て送付	: 100%						> 2	E I ME I ME I ME I	15/H. 1/52 - 007C	34H0 12 1 00 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 1007 15 11120 1 122 1 007	10074	
疾 病 3 既 簡易人間 予 防	至(男女 [^]	4 養者	: 1 '	·		Ď	<u>-</u>	文書を事業所経由で配付(被扶養者を含む)【年2回 】: 100%	・簡易人間ドックの案内 文書を事業所経由で配付(被扶養者を含む)【年2回 】: 100%	文書を事業所経由で配付(文書を事業所経由で配付(文書を事業所経由で配付(ナキャ キッシャー・コル/	・簡易人間ドックの案内文書を事業所経由 で配付(被扶養者を含む)【年2回】: 100% ・受診者数: 999人→1,100人	
配付率(【実績値】1 ・簡易人間ドックの							令和9年度	:100% 令和10年度:10	0% 令和11年度:100%)	受診者数(【実績値】999人	、【目標值】令和6年度:	1,100人 令和7年度:1,1	00人 令和8年度:1,100人	令和9年度:1,100人 令	和10年度:1,100人 令和11年度:1,100人))-
3 既生活習慣存診	貫病健 全て	3 男女 ~ 7	0 被保険 ~ 者,被扶 4 養者	: 1 '	ウ, サ -		Þ		文書を事業所経由で配付(被扶養者を含む)【年2回 】: 100%	・生活習慣病健診の案内 文書を事業所経由で配付(被扶養者を含む)【年2回 】:100%	文書を事業所経由で配付(文書を事業所経由で配付(文書を事業所経由で配付(文書を事業所経由で配付(・生活習慣病健診の案内文書を事業所経由 で配付(被扶養者を含む)【年2回】: 100% ・受診者数: 901人→1,000人	・被保険者の生活習慣病に関わる 疾病の一人当たり医療費は、糖尿 病が突出して高い。 ・糖尿病、高血圧症、高脂血症の いわゆる3大生活習慣病が高くなっている。 ・被扶養者の生活習慣病に関わる 疾病の一人当たり医療費は、人工 透析、糖尿病、高血圧症、高脂血 症の順に高い。 ・特に人工透析は人数は少ない(1 名)が金額が高いので、一人当たり 医療費は高い。
							令和9年度	:100% 令和10年度:10	0% 令和11年度:100%)	受診者数(【実績値】901人	、【目標値】令和6年度:	1,000人 令和7年度:1.00	00人 令和8年度:1.000人	令和9年度:1,000人 令	和10年度:1,000人 令和11年度:1,000人)	-
・生活習慣病健診の	の案内文書を事	業所経由で	配付(被扶	養者を含	お)【年2回]: 100%				The state of the s	THOUSE IN THE STATE OF THE STAT	, 15-16- Tix - 150				
3 既婦人科優存	建診 全て	女性 ~	0 被保険 ~ 者,被扶 4 養者		ウ, サ -		ġ	_	を事業所経由で配付(被扶	・婦人科健診の案内文書 を事業所経由で配付(被扶 養者を含む)【年2回】: 1 00%	を事業所経由で配付(被扶	を事業所経由で配付(被扶	を事業所経由で配付(被扶	を事業所経由で配付(被扶	・婦人科健診の案内文書を事業所経由で配付(被扶養者を含む)【年2回】: 100%・受診者数: 230人→250人	・被保険者の一人当たり医療費は、新生物(がん)、循環器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患の順に高い。 ・特に新生物(がん)の一人当たり医療費は他の健保組合より高い。・新生物(がん)の一人当たり医療費では他の健保組合より突出して高い「気管・肺の悪性新生物」が着目すべき疾患である。・循環器系疾患の一人当たり医療費では高血圧性疾患、その他の心疾患、脳梗塞の順に高い。

; 注1) 新					対象	者		注2)	注3)		注4) ストラク	h									
事業 既 事業名		対象	性別	年	対象者	実施 主体	施 プロセス 体 分類		チャー	夫爬冲刺		令和7年度	令和8年度	計画 	令和10年度	令和11年度	事業目標	健康課題との関連			
1	仔_			事業所		一節				 アウトプット指標	分類							アウトカ	なお標		
										100% 令和8年度:100% :100%	% 令和9年度	:100% 令	3和10年度:10	0% 令和11年度:100%)	受診者数(【実績値】230人	、【目標值】令和6年度:	250人 令和7年度:250人	令和8年度:250人 令和	9年度:250人 令和10年	度:250人 令和11年度:250人)-	
7407 (1	10200	>	7,000	- > </td <td></td> <td>013(1)2.</td> <td>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</td> <td></td> <td>K 1 - 11 2</td> <td>1</td> <td></td>		013(1)2.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		K 1 - 11 2	1											
Ì	15	E期健診		全て		~ 74	被保険 者 :: 100%	1 6 令和		- 100% 令和8年度:100%	ウ ウ ※ 令和9年度	- :::100% 令	7和10年度:10	事業所経由で配付【年2回 】: 100%	事業所経由で配付【年2回 】: 100%	・定期健診A・Bの案内文書を事業所経由で配付【年2回】: 100% ・受診者数: 定期健診 2,715人→3,000人	・新生物(がん)の一人当たり医療では他の健保組合より突出していい「気管・肺の悪性新生物」が利目すべき疾患である。 ・循環器系疾患の一人当たり医療では高血圧性疾患、その他の疾患、脳梗塞の順に高い。				
定期健	建診の	案内文	書を事業	業所経由	で配付	1【年2	回】:	100%							文部有数(【美模胆】2,713	八 【日标吧】 7410年度	. 3,000人 市和7年度 . 3,	000人 〒和8年度 3,000万	₹ 1,000人	¬和10年度・3,000人 ¬和11年度・3,000/	^)-
3 ;	R#	夫同巡回 像 全国巡回		全て	女性	~ ;	被保険扶 養者	1	ア,イ,ウ	_	ġ							・健診を利用できる対象 者には個別通知し(100%) 、希望者を募集		・健診を利用できる対象者には個別通知し 100%)、希望者を募集 ・受診者数:共同巡回健診 156人→180人 、全国巡回健診 47人→70人	
		責値】10 目できる対								100% 令和8年度:100%	% 令和9年度	:100% 令	3和10年度:10	0% 令和11年度:100%)	受診者数(【実績値】203人	、【目標値】令和6年度:	250人 令和7年度:250人	令和8年度:250人 令和	9年度:250人 令和10年	度:250人 令和11年度:250人)	
3		y できるメ 巡回レデ ・ 3 健診	<i>x</i> –	全て		40 ~ 74	被扶養者	1		_	ġ							・健診を利用できる対象 者には個別通知し(100%) 、希望者を募集		・健診を利用できる対象者には個別通知し 100%)、希望者を募集 ・受診者数:巡回レディース健診 162人→2 00人	・呼吸器系疾患の一人当たり医療
i知率(【実績	責値】10	00%	【目標値	1 令和	06年度	: 1009	6 令和	17年度:	100% 令和8年度:100%	% 令和9年度	:100% 会	3和10年度:10	0% 令和11年度:100%)	四沙女粉/『中结/艺』201	【日悔体】 本知なたち・	200 人	A和0年中・2001	0年度・2001 全部40年	在·200人 A和11左座·200人	
		できる対													文衫有数(【実績値】162人	、【日標個】令和6年度:	200人 令和7年度:200人	· 市和8年度 200人 令和	9年度 - 200人 令和10年	度:200人 令和11年度:200人)-	

1	注1) 新		ţ	対象者		注	2)	注3)	ス 実施方法		実施体制								
### ABSTACL OF THE ACT OF THE TOTAL PROPERTY	事業 ^祝 事業名 既	対象	象性	別解	対象	者主	施 ブ 体	プロセス 分類				令和6年度	令和7年度			令和10年度	令和11年度	事業目標	健康課題との関連
### Page 100 (2 回行 100 で 2 回答 1	3 既 大腸がん検診								アウトプット指標		-	書を事業所経由で配付:	1書を事業所経由で配付: 1	書を事業所経由で配付:	1書を事業所経由で配付:コ	・大腸がん検診の案内文 1 書を事業所経由で配付: 1	・大腸がん検診の案内文 書を事業所経由で配付: 1	1 配付: 100%	・新生物(がん)の一人当たり医 では他の健保組合より突出して い「気管・肺の悪性新生物」か
# 日本の							令和74	年度:100	% 令和8年度:100%	る 令和9年度	:100% 令和10年度:100	0% 令和11年度:100%)	受診者数(【実績値】522人	、【目標値】令和6年度:	600人 令和7年度:600人	令和8年度:600人 令和	19年度:600人 令和10年度	度:600人 令和11年度:600人)-	
************************************	既 メンタルヘル 5 存 スカウンセリ ク	全·	て 男	0 }女 ~ 74	加入全域	者 1	. т	_		ウ		セリング事業の案内文書 を機関誌に同封(被扶養者	セリング事業の案内文書 を機関誌に同封(被扶養者	セリング事業の案内文書 を機関誌に同封(被扶養者	セリング事業の案内文書 を機関誌に同封(被扶養者	セリング事業の案内文書 を機関誌に同封(被扶養者	セリング事業の案内文書 を機関誌に同封(被扶養者		
特別を対した。											:100% 令和10年度:100	0% 令和11年度:100%)	相談利用者(【実績値】12.	人 【目標値】令和6年度	: 20人 令和7年度: 20人	令和8年度:20人 令和9年	F度:20人 令和10年度:	20人 令和11年度:20人)-	
実施者物(「実績値」 「日標値」 今和6年度:100% 「今和9年度:20人 今和9年度:20人 今和11年度:20人 今日本	4 既存	全	て		/III A	者員 1	. 1,	,¢,5 ₋		ウ		・二次検査の必要性に関 する理解度 ・医療機関への新規およ	・二次検査の必要性に関 する理解度 ・医療機関への新規およ	二次検査の必要性に関する理解度医療機関への新規およ	・二次検査の必要性に関 する理解度 ・医療機関への新規およ	・二次検査の必要性に関する理解度・医療機関への新規およ	・二次検査の必要性に関する理解度・医療機関への新規およ	・二次検査の必要性に関する理解度	・男女別にみると、「肥満」の合は男性:45.75%、女性:19.と男性が圧倒的に高い。 ・「肥満」「非肥満」のうち、基準範囲内」のうち、基準範囲内」の名となりでの約7割が何らかのリスクをしている。 →受診勧奨基準値以上(血圧14上なり、で変診・なりがで、ででででででででででででででででででででででででででででででででででで
In Tay No All No. 0 of O West No. 20 of O West No.	尾施者数(【実績値】- 【	【目標信	值】 令和	06年度	:20人	令和7	7年度	: 20人 名	令和8年度:20人 令和	19年度:20人	令和10年度:20人 令和	111年度:20人)			令和7年度:100% 令和8	3年度:100% 令和9年度:	100% 令和10年度:100	% 令和11年度:100%)・二次検査の必要	生に関する理解度

三 注1	新			対象者		注2) 注3)		注4)				予算額	[(千円)				
算事	規	事業名	446			実施	し プロセス	実施方法	ストラク チャー	実施体制	実施計画						事業目標	健康課題との関連
科分類	存		対象 事業所	性別	F 対象:	者 主体	分類		分類		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
								アウトプット指標							アウト	カム指標		
5	既 存	禁煙サポート	全て		±π 7 -	者 1	I	-	ψ	_						・卒煙プロジェクトの参加案内を事業所経由で配付(被扶養者を含む)	・禁煙に関するサポートをカウンセラーが web面談で行う	・運動習慣がある者(特定健診問診項目)の割合は他の健保組合よりやや高い。 ・運動する機会を増やし、新たに運動を始める者を増やす。 ・喫煙率は低下傾向にあるが、他の健保組合より高い。 ・喫煙関連疾病を予防し、医療費低減につなげるため、禁煙支援を強化するとともに、禁煙を維持できる職場の環境整備を推進することが重要と考えられる。
		績値】100% ジェクトの参							% 令和9年度	:100% 令和10年度:10	0% 令和11年度:100%)	参加者数(【実績値】15人	【目標値】令和6年度:2	0人 令和7年度:20人 令	和8年度:20人 令和9年月	度:20人 令和10年度:20.	人 令和11年度:20人)-	
													-			-		
体育奨励	既 存	野球大会	全て	1 男女 <i>?</i> 7	2四121		'n	_	7	-	・参加チーム数:前年度 比1チーム増加	・参加チーム数:前年度 比1チーム増加	・参加チーム数:前年度 比1チーム増加	・参加チーム数:前年度 比1チーム増加	・参加チーム数:前年度 比1チーム増加	・参加チーム数:前年度 比1チーム増加	・参加チーム数:前年度比1チーム増加	・運動習慣がある者(特定健診問診項目)の割合は他の健保組合よりやや高い。 ・運動する機会を増やし、新たに運動を始める者を増やす。 ・喫煙率は低下傾向にあるが、他の健保組合より高い。 ・喫煙関連疾病を予防し、医療費低減につなげるため、禁煙支援を強化するとともに、禁煙を維持できる職場の環境整備を推進することが重要と考えられる。
		数(【実績値】 年度:18チー						令和7年度:14チーム	令和8年度:15	チーム 令和9年度:16チ	ーム 令和10年度:17チー	- (アウトカムは設定されて	いません)					
4	DAHTT.	一/又・10 /-	コ)・参加	17 五蚁	・おり十一反	TUT) -	コーロル					(アクトガムは放在されて	V-6 (270)					
5	既「存る	ウォーキング 事業	全て	9女 ~ 7) 加入: 全員	者 1.	<i>'</i> ፓ		77		・参加者数:前年度比10 人増加	・参加者数:前年度比10 人増加	・参加者数:前年度比10 人増加	・参加者数:前年度比10 人増加	・参加者数:前年度比10 人増加	・参加者数:前年度比10 人増加	・参加者数:前年度比10人増加	・運動習慣がある者(特定健診問診項目)の割合は他の健保組合よりやや高い。 ・運動する機会を増やし、新たに運動を始める者を増やす。 ・喫煙率は低下傾向にあるが、他の健保組合より高い。 ・喫煙関連疾病を予防し、医療費低減につなげるため、禁煙支援を強化するとともに、禁煙を維持できる職場の環境整備を推進することが重要と考えられる。
		実績値】66 <i>)</i> 前年度比10人		値】令和6	年度:7	6人 令	和7年度:8	6人 令和8年度:96人	令和9年度:1	.06人 令和10年度:116人	、 令和11年度:126人)・	- (アウトカムは設定されて	いません)					

- 注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
- 注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業
- 注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他
- 注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 カ. との他の団体との連携体制の構築 ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他